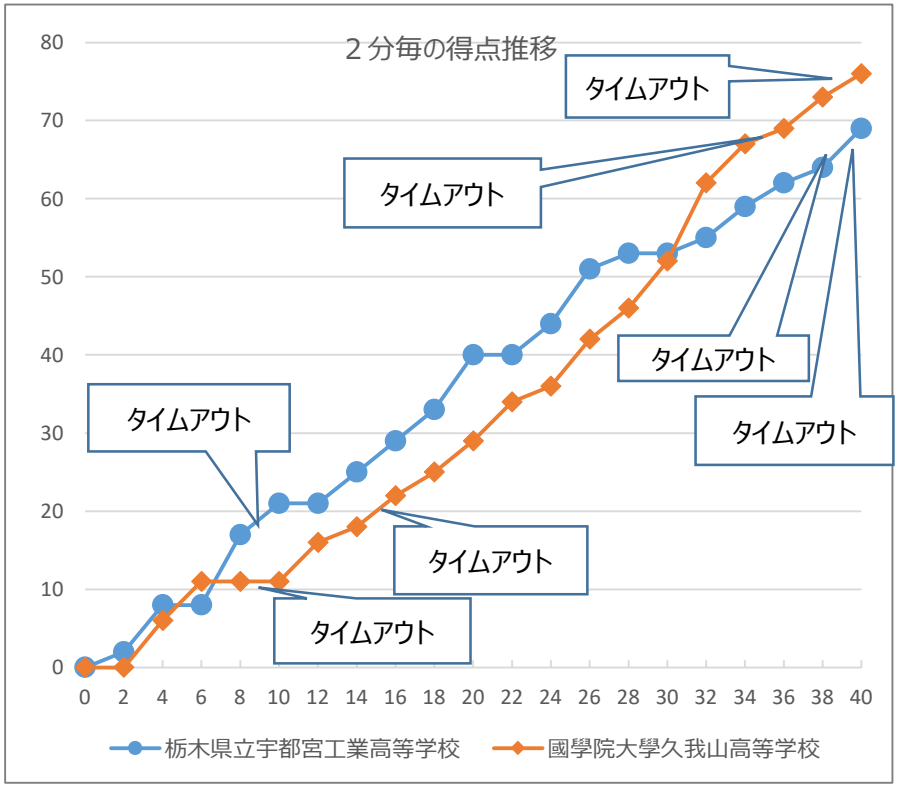
令和元年度　第３０回関東高等学校バスケットボール新人大会

令和２年2月8日（土）　男子　１回戦　小瀬スポーツ公園体育館　Aコート　第1試合

チームA					チームB
栃木県立宇都宮工業高等学校 （栃木県）	69	21	1st	11	76	國學院大學久我山高等学校 （東京都）
		19	2nd	18		
		13	3rd	23		
		16	4th	24		
			OT			



Aチーム：　栃木県立宇都宮工業高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	津野　裕俊	6	0	4	2	4	2	0	3	1	2	3
2	*	5	大出　雅輝	3	0	3	1	0	1	1	0	3	3	6
3	*	6	鈴木　聡汰	23	3	9	6	5	2	1	5	2	5	7
4	*	7	永井　智佳滋	19	3	18	5	4	0	0	0	1	1	2
5	*	8	君座　武志	16	0	2	8	7	0	0	4	5	11	16
6		9	穂積　　洸	2	0	0	1	0	0	0	0	4	2	6
7		10	和久井　　侑	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8		11	新島　海斗	0	0	0	0	1	0	0	4	4	2	6
9		12	印南　　光											
10		13	藏谷　龍彦											
11		14	井上　達矢											
12		15	田中　風歩希											
13		16	蓼沼　柚依											
14		17	渡邉　真聖											
15		18	前原　健人											
HC/TEAM			千村　隆											0
合計				69	6	36	23	21	5	2	17	20	26	46

Bチーム：　國學院大學久我山高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	石水　鴻	14	2	14	4	8	0	0	2	2	0	2
2		5	中尾　壮真											
3		6	岡部　雅大	17	1	8	6	11	2	3	1	2	6	8
4	*	7	富田　凌	30	0	1	11	16	8	9	0	8	9	17
5	*	8	石坂　悠月	1	0	0	0	4	1	4	3	2	4	6
6		9	麻生　継允	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	*	10	柳田　大斗	6	0	0	3	4	0	0	1	3	8	11
8		11	椎橋　遼生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		12	岡本　琉空斗											
10		13	宇津木 雅樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11	*	14	末次　琉良	8	0	4	3	8	2	2	1	0	5	5
12		15	川上　優介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		16	内海　智弥											
14		17	近藤　光											
15		18	ﾄﾝﾌﾟｿﾝ　心温ｼﾞｬﾌｧｰ											
HC/TEAM			酒井　良幸											0
合計				76	3	27	27	51	13	18	8	17	33	50

No: 背番号　S:スターター　PTS:総得点　FG:フィールドゴール　FT:フリースロー　M:成功数　A:試投数　F:ファウル　OR:オフェンス・リバウンド　DR:ディフェンス・リバウンド　TOT:リバウンド合計数

戦評

記載者：古屋　貴弘（山梨県高体連）

令和元年度関東高等学校バスケットボール新人大会のオープニングゲームは宇都宮工業と久我山の対戦。1Q宇都宮はゾーンで相手のリズムを作らせず、#7,#6の3Pで加点する。一方久我山は硬さが見られ、シュートが入らない。ゾーンにも慣れ始め#10,#6の得点で8-8の同点とする。その後一進一退でゲームは進むが、宇都宮#6のアリウープなどの連続得点で一歩抜け出す。久我山はシュートがリングに嫌われ得点が伸びず、21-11宇都宮リードで1Qを終える。2Q互いにゾーンで始まる。久我山は#8のフリースローからリズムを掴み、#6のゴール下などで加点する。久我山はタイムアウトを要求し、ゾーンを攻略し始める。宇都宮も#6の速攻や#7の連続得点で応戦する。しかし、差がなかなか縮まらず40-29宇都宮リードで前半を終える。3Q久我山#6のバスケットカウントから反撃開始。#4の連続ドライブインで加点や#7のゴール下での働きが光る。宇都宮も#7や#6の得点で応戦するが、久我山#4の3Pを皮切りに追い上げをみせ、終了間際#10のカットインで1点差に迫り53-52宇都宮リードで3Q終了。4Q開始間もなく久我山#7の連続バスケットカウントで逆転に成功。その後も#6の華麗なパスワークから差を広げる。意地をみせたい宇都宮も#8の連続得点で加点するも差が縮まらない。久我山は高さを生かしたバスケットで得点を重ねる。宇都宮も激しいディフェンスから追い上げを図るが間に合わず、76-69で久我山が勝利した。

主審	第１副審	第２副審
二宮　隆二（茨城県）	石崎　公一（群馬県）	中嶋　清貴（山梨県）